

令和 7 年度
第 1 回いわき市地域自立支援協議会
議事要旨

いわき市保健福祉部
障がい福祉課

会 議 名		令和7年度第1回いわき市地域自立支援協議会	
日	時	令和7年6月23日(月) 午後2時から午後3時30分	会 場 いわき市役所第8会議室
出席委員	【構成区分】	(氏名)	(所属・職名)
	学識経験者	春山 佳代	学校法人医療創生大学
	障がい者福祉団体	吉江 路子	いわき市盲人福祉協会
		渡辺 さゆり	いわき地区自閉症児・者親の会
	障がい者福祉施設等	石井 静子	いわき聴力障害者会
		田中 敦子	社会福祉法人いわき福音協会
		佐藤 みさ江	社会福祉法人育成会
		谷平 耀宗	社会福祉法人誠心会
	障がい者関係機関	石山 紀美江	社会福祉法人希望の杜福祉会
		清水 寛	いわき公共職業安定所
		須藤 勝志	いわき障害者就業・生活支援センター
		大和田 実利	いわき市社会福祉協議
	市民代表	渡辺 成子	いわき市ボランティア連絡協議会
欠席委員	学識関係者	石井 亜紀子	独立行政法人国立病院機構いわき病院(内科)
		志賀 忠夫	公益財団法人磐城済世会 舞子浜病院(精神科)
	障がい者福祉団体	吉村 真澄	いわき市手をつなぐ育成会
		長谷川 勇三	いわき市腎臓病患者友の会
	障がい者福祉施設等	長谷川 秀雄	いわき地区障がい者福祉連絡協議会
	障がい者関係機関	赤坂 剛	福島県立いわき支援学校
		大竹 奈保子	福島県立平支援学校
事務局	いわき市	佐々木 篤	保健福祉部長
		江尻 卓資	保健福祉部次長
		沼田 浩	障がい福祉課長
		高久 慶子	同 課長補佐
		菅野 孝紀	同 主任主査兼支援係長
		坂入 直人	同 主任主査兼事業係長
		折笠 隆造	同 主査
		若林 礼佳	同 主査
		草野 忠世	同 事務主任
		布施 明	同 主査
	専門部会	渡邊 智明	同 事務主任
		佐藤 悠太	就労支援部会長
		阿邊 智	児童・療育支援部会長
	基幹相談支援センター	菅野 直延	障がい当事者部会長
		園部 義博	いわき基幹相談支援センター長
		浄土 洋輔	いわき基幹相談支援センター

	地域生活支援コーディネーター	川崎 浩二 鈴木 千鶴 鈴木 洋	人材育成部会長 いわき基幹相談支援センター 同 地域生活支援コーディネーター 地域生活支援部会長
	障がい者相談支援センター	永井 正樹 芳賀 美穂子	いわき障がい者相談支援センター 同
配付資料	(1) 次第 (2) 席次表 (3) 令和7年度第1回いわき市地域自立支援協議会資料		

議事要旨

○ 令和7年度第1回いわき市地域自立支援協議会

- 1 開会
- 2 委員及び事務局紹介
- 3 会長挨拶
- 4 いわき市地域自立支援協議会について

いわき市地域自立支援協議会設置要綱第6条に基づき、谷平会長が議長を務めた。
(『5報告事項』、『6協議事項』も同様)

議事	発言者	内容
いわき市地域自立支援協議会について	事務局	配付資料・P2～5に基づき、いわき市地域自立支援協議会の組織概要や、設置要綱について説明。 (委員からの質問等なし)

5 報告事項

議事	発言者	内容
(1)令和6年度における活動報告	事務局	配付資料・P6に基づき、いわき市地域自立支援協議会の令和6年度における活動について報告。 (委員からの質問等なし)
(2)令和7年度いわき市障害者相談支援等事業について	事務局	配布資料・P7～14に基づき、いわき市障害者支援等事業について説明。 (委員からの質問等なし)
(3)令和7年度いわき市地域生活体制強化事業について	事務局 A委員	配布資料・P15～21に基づき、いわき市地域生活体制強化事業について説明。 日中一時支援事業と緊急一時支援事業について、生活介護事業所が全部参加しているわけではないと思いますが、例えば、強度行動障害の方などが、どうしても支援が必要な時に支援を受けることができるのか、この事業所数では不安に思うのですが、いかがでしょうか。 事業所が常々利用者の状況が分かっていないと、緊急的な支援が受けられないと思います。日頃利用していて、状況が分かっている事業所を利用できるのが一番いいと思いますが、事業所が限られてしまうと、参加している事

	事務局	業所に行かないとサービスを受けられないなどの不安や疑問が出てくると思いますが、いかがでしょうか。 緊急一時宿泊事業につきましては、A委員がおっしゃったように、現在6事業所で、当該事業所を利用している方の緊急時を想定しております。事業所も状態を把握し関係性が築けている利用者の緊急時に対応していただくような制度設計になっております。 事業所数が6か所ですので、これが市内の全事業所に広がれば、利用者の緊急時の安心につながることから、事業所の増に努める必要があると考えております。
	議長	この回答でよろしいでしょうか。 はい。ほかになければ、報告事項は以上となります。

6 協議事項

議事	発言者	内容
(1) 令和7年度の開催予定について	事務局	配付資料・P21に基づき、令和7年度いわき市地域自立支援協議会の開催予定について説明。 (委員からの質問、意見等なし)
(2) 令和7年度運営会議及び専門部会等の構成及び目的等について	事務局	配布資料・P22・23に基づき、令和7年度運営会議及び専門部会等の構成及び目的の概要について説明。 (委員からの質問、意見等なし)
	事務局	配布資料・P23に基づき、専門部会ごとに構成及び目的の概要について説明
	事務局	<u>就労支援部会</u> 令和7年度の体制及び主な協議事項について説明。
	部会長	・事例検討 企業・学校・相談支援事業所等から、雇用継続の成功例、取組み事例等を挙げてもらい、共有しながら、部会でスーパービジョンを実施していければと思う。 ・活動報告 これまで、就労支援事例集の作成、事例集の周知活動、研修会を開催し、令和6年度は就労支援の実践を行った。令和7年度は昨年度に実践した内容を就労継続支援

		A型の事業所連絡会等で共有できればと考えている。 ・就労アセスメント 毎年特別支援学校の生徒(3年)の就労アセスメント調整を行っている。令和7年10月から施行される就労選択支援事業についても、情報が入り次第、部会内で情報共有をしていきたい。
	事務局	<u>児童療育支援部会</u> 令和7年度の体制及び主な協議事項について説明。 ・事業所の質の向上 昨年度より継続。新規事業所の指定が増えていることから、引き続き、事業所連絡会、または事業所訪問の機会を通じて質の担保向上を図る。 ・関係機関と福祉の連携 第1回目の連絡協議会では、令和8年度に小学校入学を迎える保護者・関係機関に対し、多様な学びの場の説明会を実施した。多様な関係機関と福祉の連携をテーマに取り組んでいきたい。 ・医ケア児支援体制 令和8年度に向けて医療的ケア児のコーディネーターを設置予定になっているので、それに向けて、適宜情報共有・協議を進めていく。
	事務局	<u>障がい当事者部会</u> 令和7年度の体制及び主な協議事項について説明。 ・各障がいごとの相互理解 当事者の方々を仲間に入れて、一緒に地域貢献を行いたいと考えている。 色々な障がいをお持ちの方、価値観や世界が違う方が一緒に組織にいらっしゃるため、なかなか難しいところがあるが、親睦・交流を図りながら少し方向性が見えてきたかなというところで、進行中である。 ・議題と会議の方針策定 自分達ができることを何かさせていただこうという方向性で、自己研鑽とスキルアップを図り、それを地域の方、他の方のためにということを目標に、この部会を継続していきたいと考えている。 また、障がいを持った他の当事者グループの方々と共有、交流を図って、皆で一致団結していろいろ協力し合って意見を交換しながら進行していった方が、より福祉の向

		上や地域貢献のためになるのではと考えている。当事者の方、またそれ以外の方々にも色々と御指導・御協力をいただきながら、部会を運営していきたい。
	事務局	<u>地域生活支援部会</u> 令和7年度の体制及び主な協議事項について説明。 ・拠点整備事業の評価 拠点の5つの機能（緊急時の受入れ、体験の機会・場、相談、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）が地域に整備されているかというところの評価できればと考えている。 ・日中サービス支援型グループホームの評価 令和5年度に引き続き、部会で該当事業所の評価を進めつつ、方針や実施主体の整理を進めていきたいと考えている。 ・入所施設からの地域移行 障害者入所施設の地域移行について、積極的に取り組んでいきたいと考えている。
	事務局	<u>人材育成部会</u> 令和7年度の体制及び主な協議事項について説明。 ・人材育成ビジョンの作成 ・実地教育の整備 ・福祉人材のフォローアップと実地指導のフォローアップ 県の人材育成と圏域の人材育成を紐づけてリンクしていくことが大きな目的となる。県中央だけで人材育成するのではなくて、身近な圏域で中核的に人材育成を担える人材を育成していくという県のビジョンに基づいて、圏域で実施する人たちのフォローをできればと考えている。 また、福祉業界でスキルアップしていきたい、やりがいを持って、今働いてくれている人達が目指したいものとか、頑張っていきたい道筋を本市に作れたらいいなと考えている。併せて、協議会が開催する人材育成の研修会等について、圏域内の現場で活躍する主任相談支援専門員の力を借りながら、圏域内に実地教育の体制を構築したいと考えている。
	事務局	<u>運営会議</u> 令和7年度の主な機能・役割について説明。 ・地域課題の整理

		・ 課題を検討する場の設定 ・ 全体会への課題提言・報告・提言 (委員からの質問、意見等なし) 配布資料・P25～28に基づき、令和7年度地域会議計画の概要について説明。 <u>地域会議計画(北部)</u> 令和7年度の主な計画について説明。 ・ ネットワークの構築 ・ 地域で相談できる場、まちづくり を目的とする。 <u>地域会議計画(南部)</u> 令和7年度の主な計画について説明。 ・ 地域住民や福祉事業者との交流を通じて地域課題を抽出し、その解決策の検討を行う。 ・ 地域における課題を地域で解決していけるように関係機関等とのネットワークを図る を目的とする。 (委員からの質問、意見等なし)
	事務局	
	事務局	

7 その他

議事	発言者	内容
地域生活支援事業の中の移動支援事業の単価の変更について	事務局	地域生活支援事業の中の移動支援事業の単価の変更について、前回の協議会において、移動支援事業の手数料に関する部分について、条例改正作業を進めていることを御連絡させていただきましたが、令和7年6月議会において、条例改正を議案として提出し、議決されました。 これによりまして、かねてより、障がい福祉関係団体の皆様から要望を頂いておりました、単価の増額が実現する運びとなりました。 只今、10月サービス提供分からの運用に向け、周知等の準備を進めておりますので、御承知おき願えればと思います。
就労選択支援事業について	事務局	障害者総合支援法において、令和7年10月から「就労選択支援」が施行されることを受け、6月補正予算で事

次回の地域自立支援協議会開催予定について	事務局	業費を計上いたしました。 「就労選択支援事業」は、障がい者本人が就労先・働き方について、より良い選択ができるように、指定障害福祉サービス事業者、就労アセスメントの手法を活用し、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援するサービスでございます。 こちらにつきましても、10月からのサービス提供開始に向け、只今、周知等の準備を進めているところでございますので、御承知おき願えればと思います。 令和7年9月下旬頃に第2回会議を開催予定としております。時期が近付いたら案内文書にて周知を図ることいたします。
-----------------------------	------------	--

8 閉会